

## 【大会競技規則】

1. 大会は「当該年度公認野球規則」、全日本軟式野球連盟[学童野球に関する事項]及び「大会特別規則」を適用して実施する。
2. 大会出場資格は、千葉県少年野球連盟登録チーム単体とし、大会でのベンチ入りは、登録された代表者、監督(30番)、コーチ(29、28番)、スコアラー、介護員(2名以内、女性に限る)の7名以内(この内、監督、コーチの3名は認定指導者有資格者とする)、選手は主将(10番)、他の選手は(原則として0~27番)とし、9名以上25名以内とする。監督、コーチ、選手は同一のユニフォームに背番号(規定の寸法)を付ける。  
参加する1チームの部員数が1・2年生を除き8名以下のチーム同士の連合を認める。この場合のユニフォームは、所属チームのままでも良い。但し、背番号の重複は不可。
3. ヘルメットは、JSBBマーク入りで両耳フラップヘルメットを着帽し、打者、次打者、走者、ベースコーチ及びノッカーや球審にボールを渡す選手は必ず着帽する。
4. 金属バットは、JSBBマーク入りのものに限る。
5. 捕手(控え捕手も含む)は、マスク(スロットガード付)、レガース、プロテクター、ヘルメット及び、ファールカップ(女子選手は除く)を着用する。
6. 投手の守備を除く、選手(打者、守備)の手袋およびリストバンドの使用は認める。
7. 大会はトーナメント戦とする。

## 【大会特別規則】

1. ベンチは組み合わせ番号の若番が一塁側、攻守は打順表提出時に主将のジャンケンで決める。
2. 打順表の提出は、試合開始予定時刻40分前迄に、監督、主将が4部を球場責任者に提出する。
3. シートノックは、後攻チームから開始し5分以内とする。但し、試合の進行状態によって行われなないこともある。
4. 試合は7回戦、若しくはタイムゲームを適用する。1時間30分を超えて新しい回に入らず、その回の得点をもって勝敗を決する。同点の場合は直ちに「特別延長戦」を適用する。
5. 同一投手の投球回数は、特別延長戦を含み1試合4イニング(12アウト)以内とする。  
2試合ある場合は、1日の合計7イニング(21アウト)以内とする。  
※高学年大会に於いては、投手は5・6年生とする。特例として4年生も認めるが出来る限り5・6年生とする。  
(但し、4年生の場合は、1試合3イニング9アウトとする)
6. 【特別延長戦】  
前回攻撃終了時の最終打者を一塁走者に二塁、三塁の走者は順次前打者とし、継続打順で一死満塁にして勝敗を決する。直も同点の場合は継続打順でもう一度行い、さらに決着がつかない場合は抽選とする。  
但し、決勝戦は決着がつくまで繰り返す。選手の交代は通常の場合と同様である。  
特別延長戦における日没・降雨の場合は、抽選とする。
7. 【コールドゲーム】  
(1) 得点差の場合は、3回均等回終了後15点差、4回均等回終了後7点差とする。(決勝戦も適用する)  
(2) 日没・降雨によるコールドゲームの適用は、4回終了後とする。**(同点の場合は抽選)**  
また、4回終了前については、再試合とし、後日の第一試合前に行く。  
日没・降雨の判断は、当該球場責任者、当該球場責任審判員が両チームの監督を招集し協議して決定する。  
**但し、(1)(2)項の当該回表(3回表又は4回表)が終了した時点で後攻チームがリードの場合は、当該均等回終了とみなしコールドゲームを適用する。**
8. 臨時代走(コーティシーランナー)を認める。(代走は打順前位の者、但し、投手、捕手を除いてもよい)
9. 抗議権のあるものは、監督と当該プレーヤーとする。
10. 低学年(4年生以下)大会は本則を適用せず「千葉県少年野球低学年大会特別規則」を準用する。